

授業科目名 <英訳>		基礎地質科学実習 Basic Exercise in Geoscience				担当者所属・ 職名・氏名		国際高等教育院 教授 下林 典正 理学研究科 准教授 三宅 亮 理学研究科 助教 堤 昭人 理学研究科 助教 松岡 廣繁 理学研究科 准教授 河上 哲生 理学研究科 助教 渡邊 裕美子 理学研究科 教授 平田 岳史 理学研究科 准教授 成瀬 元			
配当 学年	2回生以上	単位数	2	開講年度・ 開講期	2015・ 後期	曜時限	その他	授業 形態	実習	使用 言語	日本語
科目番号		2505									
【授業の概要・目的】 地球史を解くカギとなる地層を自らハンマーで叩き、岩石・鉱物や化石を実際に採集して観察・分析することにより、地質科学研究の視点を養うことを目的とする。 テクトニクス、岩石学、鉱物学、古生物学等の様々な地質科学分野の野外調査（日帰り）を実施しそれらを通して地質科学研究を直接肌で体験してもらう。また、室内実験のための装置、施設見学も行う。											
【到達目標】 野外に出て露頭や地層を観察し、それらを構成する岩石や鉱物・化石に実際に触れることで、地質科学への興味や地質科学的現象に対する理解を深めることができるようになる。											
【授業計画と内容】 週末（おもに土曜日）を使い、以下のテーマ・分野について、4～5回の野外実習（朝 現地集合、夕刻解散）と2～3回の見学会を行なう。 (1)野外実習：鉱物学・岩石学〔地学ハイキング、鉱山跡探訪、鉱物採集など〕 (2)野外実習：古生物学〔化石の産状観察と採集など〕 (3)野外実習：テクトニクス〔京都西山地域の中・古生界の地層や地質構造の観察など〕 (4)施設・装置見学〔総合博物館の地下収蔵庫、地鉱教室内の装置見学など〕。 登録の期日及び実習の日程・定員については事前に掲示するが、例年10月第一週の金曜日の昼休み時にガイダンスを行っているので、受講希望者は必ず出席すること。											
【履修要件】 学生教育研究災害傷害保険（学生課厚生掛）や生協の学生総合共済に加入しておくこと。											
【成績評価の方法・観点及び達成度】 実習への積極的な参加の状況およびレポートの提出状況によって評価する。											
【教科書】 使用しない											
----- 基礎地質科学実習(2)へ続く ↓ ↓ ↓ -----											

基礎地質科学実習(2)

[参考書等]

(参考書)
なし。資料は必要に応じて配布する。

[授業外学習(予習・復習)等]

指示のない限り予習は必要ないことが多いが(事前に資料配布された場合は別!)、特に野外実習では家に帰ってから現地で見たこと・教わったことを復習すること。

(その他(オフィスアワー等))

積極的な授業参加(学習, 質問など)を希望する。
学生教育研究災害傷害保険(学生課厚生掛)や生協の学生総合共済に加入しておくこと。
また、野外実習に関しては、公共交通機関の交通費は受講者負担となる。

各担当教員によってオフィスアワーの設定は異なると思われるが、本実習全体に関する質問・相談は下記に連絡すること。

下林 典正(理1号館274; shimo@kueps.kyoto-u.ac.jp)

オフィスアワー実施の有無は、KULASISで確認してください。